

一般財団法人 切手の博物館

2014年度 事業報告書

2014(平成26)年4月1日～2015(平成27)年3月31日

【概要】 2014年度は、財団法人切手の博物館から一般財団法人切手の博物館へ移行し、2年目となります。地域に根差した博物館として、郵便切手文化の普及と振興に寄与する事業、また知の楽しみを分かち合う諸事業を継続しています。

I. 継続事業

1. 収蔵品の収集、保存、公開

(1) 企画展示・特別展示の開催

①企画展示

1階展示室で、3ヵ月ごとにテーマを替えて行いました。展示内容及び広報については、企画展示委員会において協議しています。「あこがれの宇宙」展では「国際博物館の日」記念事業として、また「世界の人形」展では来館者サービスとして、それぞれ1日限定で豊島郵便局が臨時出張所を開設、小型印の押印サービスを実施しました。

会期	展覧会名	開館日数	入館者数(名)
4月2日(水)～6月29日(日)	あこがれの宇宙	77	3,012
7月3日(木)～9月28日(日)	ディスカバー・ジャパン・オン・スタンプス	76	3,610
10月2日(木)～12月28日(日)	世界の人形	76	2,853
1月7日(水)～3月29日(日)	海の珍生物 <small>へんないきもの</small>	71	3,093
合計		300	12,568

②特別展示(有料展)

3階展示室で、有料展を次の通り開催しました。「きて★みて★きって2014」を除く各展覧会では豊島郵便局が臨時出張所を開設、小型印の押印サービスを実施しました。

会期	展覧会名	開館日数	入館者数(名)
7月20日(土)～8月18日(日)	きて★みて★きって2014	26	1,182
10月31日(金)～11月2日(日)	切手の博物館研究紀要の歩み	3	103
12月6日(土)～12月25日(木)	切手の博物館のおいしいクリスマス	17	846
合計		46	2,131

③特別展示(無料展)

○3階展示室で「第12回切手はり絵コンテスト作品展」[9月6日(土)～9月23日(火・祝)]を開催しました。

○JR目白駅開業130周年記念行事に合わせ、1階エントランスで「目白駅開業130周年記念切手展」[3月15日(日)]を開催、当日は豊島郵便局が臨時出張所を開設し、小型印の押印サービスを実施しました。

(2) 蔵書の公開

図書閲覧室では、蔵書を開架図書と閉架図書に区分し、一般の利用に供しています。閉架図書の利用は101名、296冊でした。

(3) 入館料の特典

- ①開館以来、毎月ふみの日(23日、休館日の月曜日の場合は翌24日)は入館無料としています。
- ②国際博物館会議(ICOM)及び(公財)日本博物館協会が提唱する第12回「国際博物館の日(5月18日)」の記念事業として、当日を入館料無料としました。(入館者数273名)
- ③厚生労働省が推進する「児童福祉週間」に協力し、5月6日(火・祝)～5月11日(日)は小中学生の入館料を無料としました。(小中学生の入館者数51名)
- ④バレンタインデー(2月14日(土))を、女性の入館料無料の日としました。(女性の入館者105名)

(4) 資料の収集・保存管理

- ①日本及び世界各国の新切手を常時追加購入し、発行国・地域別にレファレンス・コレクションとして整理・管理を行っています。
- ②図書収蔵委員会を月1回開催し、郵便切手関連資料の購入検討、新規受入図書の項目別クロス・インデックス作り及び収蔵図書の件名統一を続けています。
- ③図書室へは40名の方から、881冊(単行本208冊、雑誌673冊)が寄贈されました。(公財)日本郵趣協会及び(株)日本郵趣出版発行の全刊行物、並びに郵趣団体発行の支部報や雑誌の寄贈も受けています。

2. 展覧施設の運営管理

(1) 来館者サービス

- ①1階のパソコン・コーナーでは、企画展示のテーマに合わせて全国の風景印を紹介するほか、切手の博物館のホームページを閲覧できるようにしています。
- ②展示の観覧を助けるルーペとハンドライトの貸出しを行いました。(利用人数 それぞれ39名、196名)
- ③図書室閲覧においては、国内外の新刊本・話題本などを紹介すると同時に、一部の書籍はその場で購入できるようにしています。また、コピーサービスを提供しています。(コピー利用人数96名)
- ④すべての企画展示で、ホームページにプレゼント・クーポンを付けました。(交換人数590名)
- ⑤来館のたびにスタンプを押し、一定の数になるとプレゼントと交換できる「ウェルカム・カード」を発行しました。(プレゼントとの交換人数138名)
- ⑥小中学生向けに、展示を見て答える「切手クイズ」を実施しました。(参加者1,234名)

- ⑦小中学生向けに、ホームページでも「切手クイズ」を実施しました。（参加者63名）
- ⑧切手の博物館のイベント案内や新切手の発行案内などを掲載した情報チラシ「MAYっこ」を、毎月1回、ふみの日(23日)に発行しました。
- ⑨1・2階の入館料を日本の未使用切手で支払えるサービスを続けています。（利用人数729名）
- ⑩1・2階の入館を対象とした「年間パスポート」を発行しました。（期末在籍数60名）

(2) 記念品の頒布

記念品として、日本及び世界各国の郵便切手類並びにスーベニアグッズを販売しています。

(3) 市民参画

- ①切手の博物館メンバー“MAY(メイ)”の会員を引き続き募集し、会員には博物館メンバーニュース「MAY」及び「受入図書リスト」を配布しました。期末の会員数は91名で、内訳はM(メジャー)メンバーが58名、A(アシスト)メンバーが33名、Y(ヤング)メンバーが0名です。
- ②切手はり絵(館内・出張)及び切手たんけん隊の補助役として、登録ボランティア制度を設けています。
- ③切手はり絵に使用する切手の区分には、ボランティア述べ49名の協力を得ました。また、近隣の高等学校ボランティア部活動を受け入れ、切手の区分などを実施しました(6回)。
- ④目白小学校教諭社会体験研修を受け入れました。(1名、3日間)

3. 普及啓発事業

(1) 施設内活動

- ①企画展示「あこがれの宇宙」展において、学芸員によるギャラリートーク(展示解説)を開催しました。(「国際博物館の日」記念事業を兼ねる、参加者5名)
- ②参加型のイベントを次の通り開催しました。
 - 「体験!切手はり絵」 毎月第3日曜日および国際博物館の日(参加者526名)
 - 「切手たんけん隊」 夏休み中の土曜日(参加者14名)
- ③郵便料金値上げに伴い2円普通切手が発行されたのを受け、「きて★みて★きって2014」会場で「デザインしてみよう!2円切手」と題する参加型イベントを開催。作品は「切手はり絵コンテスト作品展」会場にて展示しました。

(2) 施設外活動

- ①「出張切手はり絵」を、豊島区内の子どもスキップなどで6回開催しました(参加者102名)。また、出張切手はり絵に代わり、はり絵ワークショップの材料提供を7施設に行いました。
- ②近隣の中学高校の学園祭において、切手はり絵作品の展示を行いました。(11月2日~3日)
- ③近隣の小学校5年生の図工授業に、使用済切手を提供しました。
- ④(公財)日本郵趣協会が行っている「切手趣味週間ミニ切手展」キャンペーンに協力し、全国の博物館をはじめ各公共機関49ヵ所でミニ切手展を開催しました。
- ⑤(公財)日本郵趣協会主催の「ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2014」に協力し、コンクール審査に審査員を派遣しました。

(3) 広報活動

- ①企画展示、特別展示、各種イベントを、ホームページ及びフェイスブックで広報したほか、新聞・ラジオ・テレビ・出版社などに発信しました。2014年度に諸媒体に掲載・放送された回数は、新聞約10回、雑誌約15回、ラジオ・テレビ約5回、その他(機関誌・WEBなど)約30回でした。一部の新聞では展覧会情報一覧に企画展示の情報が会期中掲載されました。
- ②切手などに関するマスコミの照会・取材、また単行本や学習教材の挿絵用に切手を使いたいという申込み(約10回)に、積極的に応じています。
- ③郵便切手文化に関する専門誌に展示などの案内をするほか、(公財)日本郵趣協会主催の展覧会〈スタンプショウ2014〉へブース出店し、当館のPRに努めました。
- ④切手の博物館だより「MAYっこ」を1ヵ月に1回、豊島区の子どもスキップなどに送り、地域への広報に努めています。
- ⑤「切手はり絵」をPRするチラシを作製し、子どもスキップ、〈スタンプショウ2014〉会場などで配布しました。
- ⑥(公財)日本郵趣協会が発行する切手カタログなどに図版を提供し、専門出版物において財団名をPRしました。

(4) 他館との協調

- ①練馬区立石神井公園ふるさと文化館で開催の「絵葉書の魅力ー時代の『生き証人』ー」展(4月26日～6月15日)にて、明治から昭和の官製はがき(大島コレクション)の画像を提供しました。
- ②「きて★みて★きって2014」(7月20日～8月18日)にて、日本郵便(株)から「宝塚歌劇公演100周年」切手原面を、凸版印刷(株)から同切手印刷資料を借用し、展示しました。
- ③「世界の人形」展(10月2日～12月28日)にて、「小さなミュージアム」(東京・町田市)から展示切手にちなんだ人形を借用し、展示しました。
- ④JR目白駅開業130周年記念行事に協力し、鉄道をテーマとした切手はり絵作品を目白駅に展示しました(2月14日～3月31日)。

4. 学術調査研究事業

(1) 調査研究

- ①紀要編集委員会の査読を経て、研究者の調査研究成果を取りまとめた「研究紀要」(第11号)を発行しました。
- ②(公財)日本博物館協会主催の全国博物館長会議、東京都博物館協議会総会・日本博物館協会東京支部総会、及び各種研修会に出席し、他館との交流を図るとともに、学術調査研究事業の質的向上に努めています。
- ③科学研究費補助金の指定研究機関として、諸手続きを行っています。

(2) 鑑定

郵便切手類の真贋の鑑定を鑑定委員会のもとに行い、69点の鑑定書を発行しました。

5. 顕彰事業

「第12回切手はり絵コンテスト」を開催しました。「きて★みて★きって2014」期間中に作品募集を行い、全応募作品286点を展示するとともに、優秀作品には賞状並びに記念品を授与しました。

6. 文化支援・助成事業

(1) 文化支援

- ①郵便切手文化を広げる場として、「図書バザール」(1回)及び出品者(社)を募った「切手バザール」(8回)を開催しました。
- ②(公財)日本郵趣協会主催の学術調査研究発表会などに3階展示室を提供し、公益活動を支援しました。

(2) 助成

- ①郵便切手文化の振興を図るため、(公財)日本郵趣協会主催の展覧会〈スタンプショウ2014〉及び第49回全国切手展〈JAPEX2014〉において、特別賞を寄贈しました。
- ②博物館の社会貢献活動の一つとして、エントランスに専用ボックスを置いて紙付き古切手の寄付を募り、集まった古切手は公益法人等に寄贈する活動を続けています。

II. その他事業

鑑賞・収集の対象となる日本及び世界各国の郵便切手類を、ミュージアム・ショップにて受託販売しています。

附属明細書（事業報告関係）

補足すべき重要な事項はないため、附属明細書は省略する。